第3種 登別漁港
（北海道登別市・白老町）

のぼりべつ 登別地区特定漁港漁場整備事業計画

登別・白老（虎杖浜）地域マリンビジョン策定（モデル地域）

胆振太平洋圏域
流通拠点

現状と課題

・漁獲物の高品質・高付加価値な出荷による漁業経営の安定のため、同一魚種に対して同レベルの漁獲物陸揚げ環境の確保等の課題がある。
・今後発生しうる災害に対して、漁港背後地への被害軽減や施設利用の早期再開に課題がある。
・第2港区における静穏度の悪化、準備・休けい漁船の集中による第2港区の狭隘化の課題がある。

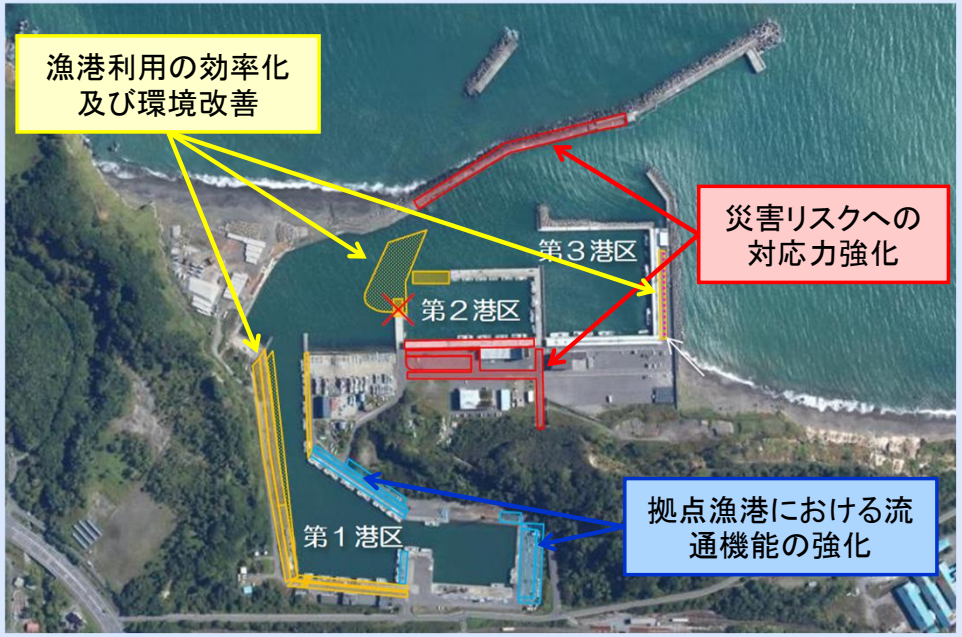
港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：55隻
利用漁船：127隻
（内、外来漁船：73隻）
属地陸揚量：5，689トン
属地陸揚金額：15．4億円
主な魚種：スケトウダラ、カレイ類
組合員数：78人

◎登別漁港の役割

・周辺海域で操業するスケトウダラ刺網やサケ定置網などの沿岸漁業、道内外からの外来船利用の流通拠点

主　要　対　策



主な整備方針

・衛生管理対策の強化及び流通の効率化を図るため、屋根付き岸壁の整備や用地・道路の改良を行う。
・災害後における施設利用の早期再開を図るため、防波堤及び陸揚げ岸壁への耐震・耐津波対策、並びに同岸壁に近接する用地や道路の液状化対策を行う。
・漁港利用の効率化を図るため、航路護岸を準備岸壁として岸壁利用の再編を行う。また、第2港区の静穏度対策として第2港区港口の切り替えを行うとともに、第3港区の、強風対策として、防風柵の整備を行う。

基本事項

全体事業費：68．5億円
事業期間：R5～R14

主要な対策①：漁港利用の効率化及び環境改善

主要な対策②：災害リスクへの対応力強化